

平成 27 年度 “超” を目指す軸受技術研究会報告

“超” を目指す軸受技術研究会（第 3 種，主査 平山朋子）：本研究会は，軸受技術の基礎研究や応用・開発に携わっている者，気軽になんとか参加してみたい者が集っていろいろな意味での“超”を議論し，情報を交換する場として運営されている．本年度は，委員数 30 名，平均出席者数は 20 名程度で，同志社大学を開催場所とし，3 回の研究会を開催した．研究会での講演タイトルは以下のとおりである．

第 46 回研究会（平成 27 年 6 月 27 日 於：同志社大学）①気体軸受技術の進展史（元関西大・研究会主査 森 淳暢），②自立分散式転がり軸受のご紹介（空スペース 河島壮介），③「気体軸受技術」について（神戸製鋼所 河島 巖）．

第 47 回研究会（平成 27 年 10 月 10 日 於：同志社大学）①NMR 用気体軸受の現状（JEOL RESONANCE 遠藤由宇生），②新構造フォイル軸受のメカニズムと性能（NTN 吉野真人，藤原宏樹），③軸方向スロット絞りを有する気体軸受，超高速気体軸受特性の CFD 解析（豊橋技科大 伊勢智彦，兵庫県立大 寺前佳佑，中塚将也）．

第 48 回研究会（平成 27 年 12 月 19 日 於：同志社大学）①定位置予圧における円すいころ軸受のアキシアル荷重変化（東理大 野口昭治），②テクスチャ表面が生み出す流体潤滑作用（九大 八木和行），③スピンドルモータの軸受-回転精度からみた軸受とその周辺の研究の思い出（スピンドルデバイス研究所 菱田典明），④軸受異聞（ピー・エス・シー 伊藤龍一），⑤感圧塗料を使用した気体軸受内圧力分布の可視化計測の現状（豊橋技科大 伊勢智彦），⑥軸受 O リング支持構造の動特性について（パナソニック 庄山直芳），⑦摩擦発電に関する研究（関西大 谷 弘詞，辻岡鴻志，呂 仁国，小金沢新治，多川則男），⑧縦軸水車発電機用の様々なすべりスラスト軸受（放送大 松尾昌憲），⑨単調性のはざま-Mathematica の使い方（島津製作所 猪坂 弘），⑩小型水力発電機の水車の試作と試運転（スピンドルデバイス研究所 菱田典明），⑪エッジ・エフェクトって何？（元京都大・大阪電通大 矢部 寛），⑫添加吸着層の形成に伴う界面すべり効果の検証（同志社大 平山朋子，中野聡希）．

研究会終了後には，話題提供者を囲んで簡単な懇親会を設けることが慣例となっており，毎度，ざっくばらんな意見交換がなされている．次年度も軸受技術に関わる話題を基とし，年 3～4 回の研究会の開催を予定している．

URL: <http://www.maizuru-ct.ac.jp/control/noma/trib/tribology.html>